

1991年～2000年に「中年からの老化予防に関する心理学的調査」（東京都健康長寿医療センター
研究所：旧東京都老人総合研究所）に参加された皆様へ

「中年からの老化予防に関する心理学的調査」データの研究利用に関するお願い

東京都健康長寿医療センター研究所では、倫理委員会の承認を得て、下記の研究を実施します。
関係各位のご理解とご協力をお願い申し上げます。

令和3年10月 東京都健康長寿医療センター研究所
自立促進と精神保健研究チーム
稲垣宏樹

【研究課題名】 「中年からの老化予防に関する心理学的調査」データを活用した大都市部在住中高年者における心身機能の変化ならびに健康長寿との関連を明らかにする二次分析研究

【研究期間】 令和3年10月～令和6年3月

【研究の目的】 東京都健康長寿医療センター（旧東京都老人総合研究所）におけるプロジェクト「中年からの老化予防に関する心理学的調査」は、板橋区の中高齢者を対象として、1991年～2010年まで継続的に調査を行い、ライフイベント体験（例、失業、死別体験等）と心理機能（例、精神的健康等）の変化について検討しました。本研究では、このデータを再活用し、心身機能の変化と健康長寿の関連について心理学的側面から調べることを目的とします。本研究により得られた知見は、国際雑誌において公表することを予定しております。

【研究の方法】 同プロジェクトの初年度参加者の調査データを再活用して解析を行います。なお、このデータには個人情報が付加されておられません。①まず、1991年～2005年までの心理機能（主観的幸福感や性格等）の変化を調べます。②その変化と、2010年の心身の健康状態、ならびに2015年までの生存の状況（死亡、区外への転出）との関連を調べ、中高年期における心理状態と健康長寿の関連の法則について明らかにします。

【研究組織、研究機関名】

研究責任者 稲垣宏樹（東京都健康長寿医療センター研究所）
研究協力者 増井幸恵（東京都健康長寿医療センター研究所）
岩佐一（福島県立医科大学）
権藤恭之（大阪大学）

【研究者が保有する個人情報について】

本研究では、皆様の個人情報（お名前、生年月日など）を取得しません。解析で用いられるデータにはこれらの個人情報は付記されておられません。また、知見の公表時には対象者の皆様が特定されない方式で結果を提示いたします。よって、皆様のプライバシーが侵害されることはありません。

【不同意の意思表示手続きに関して】

皆様にご提供くださったデータを本研究には使用しないでほしいとお考えになる場合には、ご本人もしくは二親等以内の親族の方が、「不同意の意思表示」の手続きを行ってくださるようお願い申し上げます。下記の問い合わせ窓口に、調査対象者ご本人の氏名、性別、生年月日をお伝えください。この情報は、調査対象者ご本人かどうかの照合に使用させていただきます。

【研究データの保管ならびに廃棄】

研究データにつきましては、解析のため、外部機関の研究者（岩佐 一：福島県立医科大学）に提供する場合があります。

また、研究データは、研究結果の検証や再確認のため、成果の公表から10年間は保管いたします。その後、適切な方法で処分し廃棄いたします。

【本研究に関する問合せ先】

本研究に関してご質問等ございましたら下記へご連絡をお願いいたします。

（本研究全般への問合せ）

〒173-0015 東京都板橋区栄町 3 5 - 2

東京都健康長寿医療センター研究所 自立促進と精神保健研究チーム

稲垣宏樹

電話：03-3964-3241（内線4220） e-mail: inagaki@tmig.or.jp

※本掲示は、令和3年11月10日まで行います